

発行所 愛知県山岳連盟
 発行人 石川 富 康
 編集人 中平等 新 一
 名古屋市中白区中平3-1902
 TEL&FAX 052-802-8062

◇ 10月25日～26日救助技術研修会・講習会（南山） <http://www.geocities.co.jp/Athlete/1653/>

愛知県で開催の全国山岳遭難対策協議会



平成20年度愛知山岳連指導員総会

指導法など中味濃い勉強会を!!

平成20年度愛知山岳連指導員総会が、6月17日(火)県スポーツ会館で開かれ22人が出席した。勝野準生指導常任が進行役を務め、議長に上窪英男普及副部長を任命し、会議が始められた。まず、19年度活動状況を高木宏普及部員から次のように報告された。

〔19年度活動報告〕

- 4月14日 指導委員会役員会
- 6月9日 10日 日山協・指導員研修会・総会(東京)
- 6月23日 24日 確保技術研修会・講習会・検定会(名古屋消防局)
- 6月26日 指導員総会(県スポーツ会館)
- 7月18日 登山勉強会(緊急時における状況判断と危機管理) 豊橋 7月24日名古屋
- 7月21日 22日 文登研・社会人登山リーダー研修会①富山②上窪
- 8月26日 指導委員会役員会 9月1日 2日 日山協・夏山レスキュー講習会(滋賀)
- 9月13日 17日 文登研・社会人登山リーダー研修会②富山③高木、伊藤
- 9月19日 登山勉強会(読図机上) 豊橋 9月26日名古屋
- 10月4日 8日 文登研・山岳遭難救助研修会(富山)高木

- 10月13日 指導委員会技術研修会(南山) 岩瀬、上窪、木田、坂口、高木、山本
 - 10月20日 21日 救助技術研修会・講習会・検定会(南山)
 - 11月3日 4日 県民登山教室へ派遣(岩瀬、高橋、坂口、森田、高木)
 - 11月14日 登山勉強会(確保における、指導員のあり方と指導法) 豊橋 11月20日名古屋
 - 11月24日 25日 上級指導員養成講習会(県教育会館) 44人
 - 12月1日 同 44人
 - 12月15日 16日 指導員実技検定(雪上技術) 御岳
 - 1月14日 指導委員会役員会
 - 1月27日 指導員検定・登攀総合(南山)
 - 1月29日 指導員検定・筆記試験(つながれつとナゴヤ)
 - 2月13日 指導員集會(豊橋)
 - 2月19日 同(名古屋)
 - 3月22日 23日 雪上技術研修会・講習会(御岳)
- 次に指導員名簿について、現在75人が登録されているが更新の迫っている人は注意されたい。また、今後の勉強会のテーマについてアンケートのテーマについて出席率の向上策について指導部で検討することになった。最後に、20年度新役員、事業計画が岩瀬幹生指導委員長より発表され、今年は中味の濃い勉強会にしたいと結んだ。

平成20年度全国山岳遭難対策協議会

山の遭難をいかに防止するか
全国から百五十人参加し討議

平成20年度「全国山岳遭難対策協議会」は、北は北海道から南は九州まで、全国の登山・山岳救助関係者らが集い7月4日(金)5日(土)の2日間、名古屋千種区「ルブラ王山」で開かれ、150人によって熱心に討議された。

第一日目は、9時から受付が始まり、10時に開会式が行われ、冒頭の挨拶が文部科学省、警察庁とつづき、日山協の田中文男会長が、「最近、多発している遭難事故をなんとかしよう、全国から多くの人に集まっていただいた。事故防止に備え指導者の育成に努め、そして、消防、警察、地元との協力を得て、スピーディーに対処できるように、様々な角度からみなさんのお知恵を拝借して、事故防止に努めていきたい」と述べた。

その後、講師や分科会の座長、助言者らが紹介され開会式は終了した。

次に講演が始められ、静岡大学教育学部教授・村越真氏が「道迷いリスクマネジメント」と題し「道迷い遭難は跡

を絶たない。特にここ数年間は道迷いによる山岳遭難が多発している。また、道迷い遭難は10年間、遭難態様中1位であり、概ね35%を占めている」などと言及し、各地の警察本部の協力を得たデータや独自に収集した登山者の実態に関する資料を交えながら、道迷いの実態とその背景を探り、道迷いによるリスクの発生の構造を捉え、その上、リスク軽減の方策について、北米での道迷い遭難捜索の方法などまじえ、講演を終えた。

12時から13時までには休憩となり、その間を利用して、



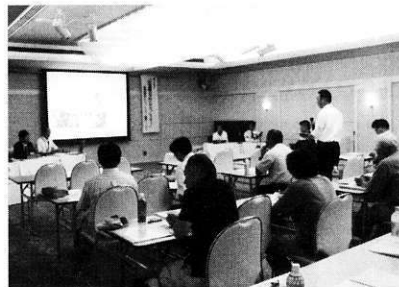
7大陸登頂を説明する石川会長

石川富康愛知岳連会長が、スライドを使って自身が成し遂げた「七大陸最高峰登頂」の軌跡を紹介した。また、同会場でメーカーによる救急用具や登山器具などの展示も行われ参加者の関心を集めた。

午後は、3人の講師によって1時間づつ講義が行われ、まず、警察庁生活安全局地域課課長補佐・稲垣好人氏が「平成19年中における山岳遭難の概況」で、(1)山岳遭難発生状況の推移。(2)平成19年中における山岳遭難発生概要で、目的別発生状況や態様別発生状況(別表参照)などについて説明をした。

次に、名古屋地方気象台観測予報課予報官・谷渡直樹氏が「山の天気と気象の話」として、山の気象学の重要性を語り、お天気と気象についての基礎知識として、空気の種類や質や高気圧・低気圧、台風や雷。また山の天気の特徴について、平地と山の気温や風の違い、雪崩や鉄砲水など指摘。また、雲の種類や状態から天気を知る観天望気の有効性について語った。終わりに遭難しないための気象情報の利用について説明し終えた。

最後に、名古屋工業大学准教授・北村憲彦氏(愛知岳連理事長)が「楽しい山歩きと



熱心に討議された分科会

リスク管理」について、楽しい山歩きを通じて自然に接することは心を豊かにし、健康増進にもつながります。しかし、山はいつも安全な場所とは限らないとして、(1)山歩きの特徴とリスク、(2)リスクに強いリーダーを育てる、(3)楽しいグループ活動(身近な仲間同士あるいはクラブ活動)

(4)山のリスクマネージメントの将来(正しい情報と知識・技術の普及)について述べ、山岳遭難事故防止のための価値観と社会的バックアップ体制、について語った。

起こし、大変迷惑をかけておられます。この場をかりてお詫び申し上げます。今宵はそうしたことを忘れていただき、大いに歓談をしてほしいと思います」と感謝の気持ちをおこめて挨拶。つづいて日山協・田中会長の乾杯の音頭で懇親が始まった。

第二日目は、9時から分科会が行われ、第1分科会はテーマ「山岳遭難救助の現状と問題点」へリコプター救助活動の現状と登山者への対応を警察・消防関係者を中心に協議された。また、第2分科会はテーマ「山岳遭難の予防とセルフレスキュー」で指導員養成とセルフレスキューを主として協議された。これについて高橋優遭難対策委員長が愛知岳連が実施している遭難防止に係わる講習会(研修会)を紹介し、上窪英男指導員会普及副部長が諸講習会の取り組みと内容を披露。つづいて、名古屋山岳会・吉村賢氏が会の現状と遭難対策について説明をした。

第3分科会は、テーマ「学校登山活動の現状と課題」でリーダーの育成と安全登山のために、今求められていることを高校・大学関係者で協議された。愛知県高体連登山

登山に関する事故防止の呼びかけ

I 登山事故防止の要望事項

- 1 登山届の提出を奨励し、計画的な登山の徹底を図る。
- 2 登山道、道標、トイレの整備及び適切な管理等、環境保全に努める。
- 3 詳細な山岳情報と気象情報の提供に努める。
- 4 ツアー登山参加者の安全確保の指導を図る。

II 登山者に対しての事故防止の呼びかけ

- ～登山の事故防止について、お互い呼びかけよう～
- 1 山の事故は自己責任、山岳遭難共済保険に必ず加入しよう。
 - 2 単独登山は慎重、信頼できる仲間と登ろう。
 - 3 登山計画は、メンバーの実力に適したルートを選定しよう。
 - 4 登山者は、気象及び山岳情報を掌握して行動しよう。
 - 5 トレーニングを積み、体調を万全にして山に出かけよう。
 - 6 登山者は自然保護に努め、ゴミ等は必ず持ち帰ろう。
 - 7 登山者は、各自で非常食・装備を必ず携帯しよう。
 - 8 計画書を作成し、登山口や警察、身近な人に提出しよう。
 - 9 下山報告、事故報告は必ず提出しよう。

午後から全体会が設けられ各分科会の座長から協議の結果発表があった。

第1分科会では、ヘリの要請について、長野、岐阜、富山県側は110番、その他の地域は119番が良い。第2分科会は安藤武典副会長が愛知岳連の遭難対策のまとめを発表。第3分科会は、高体連登山部副部長・河野義人氏が各校では入部する生徒が少ない。特

専門部の活動状況、参加各校の生徒と傾向の意識調査について討議。また「大学生リーダーの育成と安全登山のため」、今求められていること」と題し、愛知学院大学登山部監督・鈴木清彦氏がスピーチした。



協議会に参加した岳連スタッフ

に女性は極端、顧問の先生も経験不足から不安を抱えている人が多いと発表。

最後は「山岳遭難事故防止の呼びかけ(案)」を中平等新一議長が読み上げ、採択されて全体会を終了した。

【過去10年間の山岳遭難発生状況】

区分	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
発生件数	1,077	1,195	1,215	1,220	1,348	1,358	1,321	1,382	1,417	1,484
遭難者数	1,341	1,444	1,494	1,470	1,631	1,666	1,609	1,684	1,853	1,808
死者、不明者	251	271	241	243	242	230	267	273	278	259
負傷者	439	555	635	615	684	677	660	716	648	666
無事救出等	651	618	618	612	705	759	682	695	927	883

※「不明者」とは行方不明者を示し、「無事救出等」には自力下山を含む。

【過去10年間の中高年登山者の山岳遭難発生状況】(人員)

区分	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	
遭難者	総数	1,341	1,444	1,494	1,470	1,631	1,666	1,609	1,684	1,853	1,808
	中高年	1,023	1,158	1,135	1,127	1,223	1,298	1,309	1,372	1,507	1,439
	比率	76.3%	80.2%	76.0%	76.7%	75.0%	77.9%	81.4%	81.5%	81.3%	79.6%
死者、不明者	総数	251	271	241	243	242	230	267	273	278	259
	中高年	209	235	206	221	219	213	249	244	251	237
	比率	83.3%	86.7%	85.5%	90.9%	90.5%	92.6%	93.3%	89.4%	90.3%	91.5%

目的別	細目別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計(人)
登山	登山	19	33	38	56	97	78	112	218	108	104	89	44	996
	ハイキング	3	5	4	4	17	17	2	11	15	31	10	7	126
	スキー登山	5	26	5	15	7	0	0	0	0	0	1	1	60
	沢登り	0	0	0	1	3	2	4	12	6	4	0	0	32
	岩登り	1	0	1	1	2	6	3	2	7	2	2	0	27
	計(人)	28	64	48	77	126	103	121	243	136	141	102	52	1,241

閉会式で、文部科学省登山研修所長・長登健氏が「この度は、全国から多くの方々に参加していただき、2日間熱心に協議してもらいました。この成果を今後の遭難防止に生かして欲しいと思います」

ます。皆さん大変お疲れさまでした」と挨拶。

以上をもって、2日間におたった協議会が、有意義に滞りなく終了した。

(中平等 新二)

ビギナーから安心して選べる三河地区のエキスパートまで

のPROショップ

JR刈谷駅前

穂高

〒448 刈谷市桜町1-13
TEL0566(23)8611

定休日/火曜日
営業時間/10:00~20:00

登山用品豊富!

名古屋駅前の山とスキーの専門店

駅前アルルス

〒450-0002 名古屋市中村区名駅四丁目11-27
(第2トヨタビル東館1F)

TEL 052-565-1417

日山協海外登山遭難対策研修会

海外登山委員長

鈴木 清彦

日時：平成20年6月21日(土) 22日(日)
場所：群馬県水上市 土合山の家

テーマ：ヒマラヤ登山の救助と保険について

近年、衛星電話の普及や航空機(ヘリコプター)の性能アップによって、高所での救助が可能になりました。それに伴って救助費用も膨大な額になっていきます。これらの費用を保険に頼らざるを得ないのが現実です。果たして、このような海外旅行傷害保険はあるのか?といったテーマで、実際の海外登山での事故、救出・処理、かかった費用などの例を、岩崎洋さん(バーバリアンクラブ)が講師で5件(1998〜2004年の範囲)報告されました。事故例は個人・組織名は出されていませんが、当連盟のアンナプルナの事故例と事故処理経費(当連盟ですでに報告済み)も出されてきました。

保険の現状は、千代田保険事務所 千代田保険センター代表の、天野博文さんが講師で報告されました。これまでは、事故防止をテーマでの遭難対策研究会でしたが、今回は「起こったらどうする」がテーマになりました。海外登山での事故は大半がセラック(氷河ブロック)の崩壊による誘発雪崩、高山病

といったところです。国内登山なら入山していかないような環境でも、ヒマラヤは環境規模的に入山して行かないことも事故につながる環境が多い要因でしょう。

起こったらどうするといった手段は、その環境で出来ることをする応急処置はともかく、処置が出来ない場合に搬送が真っ先にあり、その手段はヘリに頼るということになります。

ヘリの経費は今回の報告によると地域環境や使用したヘリの能力によって異なりますが、最大\$600000(当連盟のアンナプルナ)、平均すると\$200000くらいでした。2004年までの経費報告なので、現在では燃料の高騰を考えると最大\$800000、あるいはそれ以上を考慮しなければなりません。報告の救助費用はほとんどが、日山協の共済保険から補われたいようです。

天野博文さんの、海外登山の保険についての説明により、現在では損害保険会社によって引き受けできないところが多く、補償引き受け限度額にも差があるので、どこが、どのような条件で引き受けてくれるのかをよく調査すること。を前提に保険種類

の例も示されました。

レパトリエーション(Repatriation) 国際医療帰国搬送費用が話題になってきたようで、最近では、竹内洋岳君のガッシュヤープルムIIでの雪崩事故による怪我。日本のひとつだったでしょう。海外の山々を目指す登山者は、社会復帰のために、何千万もかかるチャーター機、または怪我人を保護するためのシート確保の費用を担保する保険にも加入すべきでしょうか。

1. 欧米の登山者が最も使っているのは、デンマークのIHI (International Health Insurance) という旅行保険に加入していることがわかったそうです。契約内容・契約はインターネットのみで、www.ihl.comから検索してみてくださいください。

2. 天野さん率いる千代田保険センターの引き受け補償内容は、
* 海外旅行傷害保険II 基本契約

合計保険料	救済者費用	疾病治療	疾病死亡	傷害治療費用	障害後遺傷害	障害死亡	補償内容	補償額	免責
186600円	10000万円	10000万円	10000万円	10000万円	10000万円	10000万円	Aコース料金率	22800円	
1697200円	10000万円	366600円	331500円	360200円	173100円	455700円	Gコース料金率	455700円	

* 海外登山保険(運動割増し付き)
Aコース: 60000m以内で単独・初登はんを除く
Gコース: それ以上の高さで世界最高峰までと、単独・初登はんを含むというところで、具体的に海外登山(海外旅行+運動割増し)保険料表の例を紹介していただきました。(左表参照)

基本的には、どちらも1ヶ月の旅行期間での契約のようになります。それ以上の日数になる場合は、1日につき¥?が加算されるのが一般的のようです。
事例では、日山協の共済でも、ある程度の補償はされています。特に、救済者費用の項目に入る、救援などの救助経費は補われていました。今後は、共済は共済として、プラスこのように旅行傷害の特約をかけていくことによって、補償額・補償内容の範囲が広がります。立つのでは?ということでした。

登山ツアーと山行計画の御用命なら!

山旅の予定が満載 年間総合カタログ 無料送付致します ご請求下さい!

オーダーメイドの山旅も承ります お見積り無料! お気軽にどうぞ

初心者からベテランまで...国内日帰りから海外の名峰まで...! 高所登山の前に最速! 低酸素トレーニング室を設置しています!

国土交通大臣登録旅行業第1366号/日本旅行業協会正会員/ボンド保証会員

アミューズトラベル株式会社

〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-11-27 第二豊田ビル東館7階
TEL:052-588-5617 FAX:052-588-5618 (1階は駅前アルプスさん)

名古屋・伏見 **長者町** の山用品専門店

MOUNT & OUTDOOR GOODS PRO SHOP

ステラルピーナ
(旧シャツバーム)

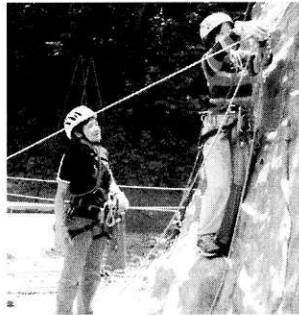
名古屋市中区錦二丁目5-31 長者町相互ビル2F ☎052-231-0739
営業時間/11:00~8:30pm(日曜日は7:00pm迄)

確保技術講習会に参加して

確実なアンカーがパーテイーを守る

名古屋愛山会 中村 久

文部科学省登山研修所(立山)を利用した講習会に、初めて参加させていただきました。素晴らしい整った施設を使って訓練できるということ、指導員、研修生とも気合充分、やる気満々で始まりました。タイヤ落としは各人が納得できるまで何度でもやり放題!!!岩場を模した人工壁を使って、確保や自己脱出、懸垂下降などアルパインクライミングで遭遇しそうな様々な場面を想定して、多くの技術を練習することができました。指導員の方々は研修生が納得できるまで根気良く、親切丁寧に説明していただいただけでなく、救助に使うさらさらに進んだ技や新しいクライミングギアを紹介していただくなど本当に頭が下がる指導でした。ありがとうございました。入浴、夕食後に催された確保理論の特別講習会ではアンカーの重要性を強く認識することができました。講師の「アンカーは自分のためだけにあってはならない。パーテイー全体のためにあるのだ」という言葉が印象に残りました。お楽しみの懇親会では各自持ち寄った飲み物、食べ物



やまびこ山想会

創立20周年記念式典

・9月28日(日)PM1時~4時
ルブラ・王山(千種区)

名古屋ACC

創立50周年記念パーテイー

・10月26日(日)PM1時~4時
東急イン地階(厳選洋食ひしゃ) 中区栄

使って安心

MERZEN のクリップ

このほかにも各種そろえてあります

帽子キーパーにも便利!



フィッシュクリップ



キーパークリップ



パワークリップ

株式会社マーゼンプロダクツ

〒470-0112 愛知県日進市藤枝町小山645 Tel.0561-73-3411

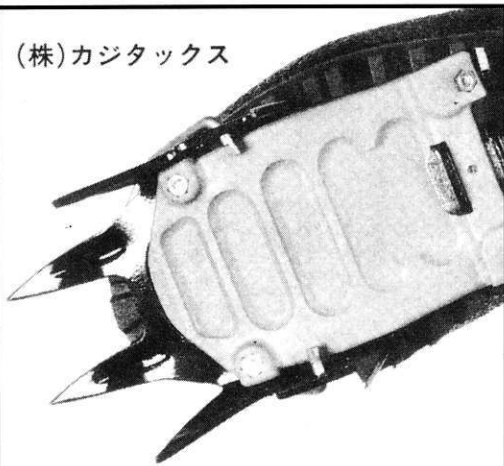


登山・スキー・アウトドア専門店



豊橋市壺町5 ☎0532-55-0125

(株)カジタックス



KAJITAX

雪稜・氷壁・銀世界
自然派のグッドパートナー

〒487-0024

愛知県春日井市大留町598 ☎0568-51-5110, FAX51-7799

◆9・10月スケジュール

月日	内容
9.2	常任理事会 (OMCビル)
9.7	第2回気象講習会 (三河)
9.12~14	中高年安全登山指導者講習会 (滋賀県)
9.30	指導部登山勉強会 (県スポ)
10.2~5	第63回大分国体
10.7	常任理事会 (OMCビル)
10.25~26	救助技術研修会・講習会 (南山)
"	自然保護観察会
"	高体連・秋季登山講習会 (釈迦ヶ岳)

「世界の山旅」

トレッキングからエクスベディションまで!!

アルパインツアーはヒマラヤからカラコルム、カナディアンロッキー、ヨーロッパアルプス、アラスカ、USA、アンデス、南極、アフリカ、ニュージーランド、パタゴニア、中国、北極圏、日本、その他、世界の山岳地域、辺境地域へのトレッキング・ハイキング・登山ツアーをご用意しています。ぜひ、ツアーカタログ「世界の山旅・辺境の旅」をご請求下さい。また、登山隊のために航空便の手配などのお手伝いもしています。私達の豊富な知識と経験をもとに随時ご相談に応じていますので、お気軽にお問い合わせ下さい。



運輸大臣登録一般旅行業第490号 日本旅行業協会正会員 IATA公認代理店

ALPIN ツアー サービス 株式会社

〒450 名古屋市千川区名駅3-23-6 第2千禧ビル8階 TEL:052-581-3211

主な山岳地の登山についての問い合わせ

山 岳	気 象 情 報	山 岳 情 報
主な山域の 冬山情報	各地域の情報は地方気象台に お問い合わせ下さい。 ◎インターネット http://www.jma.go.jp/jma/index.html	警察庁生活安全局地域課 ◎インターネット http://www.npa.go.jp/
利尻岳 大雪山系 十勝岳	稚内地方気象台 (0162) 23-2678 旭川 " (0166) 32-6368	北海道警察 旭川方面本部地域課 (0166) 35-0110 内 3543
八甲田山系	青森 " (017) 741-7411	青森県警察本部地域課 (017) 723-4211 内 3575
八幡平	盛岡 " (019) 622-7868 秋田 " (018) 823-8291	岩手県警察本部地域課 (019) 653-0110 内 3583 秋田県警察本部地域課 (018) 863-1111 内 3592
鳥海山系	山形 " (023) 622-2262 秋田 " (018) 823-8291	山形県警察本部地域課 (023) 626-0110 内 3593
蔵王山系	仙台管区気象台 (022) 297-8104 山形地方気象台 (023) 622-2262	宮城県警察本部地域課 (022) 221-7171 内 3593 ◎インターネット http://www.police.pref.miyagi.jp/ 山形県警察本部地域課 (023) 626-0110 内 3593
飯豊連峰	山形 " (023) 622-2262 新潟 " (025) 244-1701 福島 " (024) 534-2162	山形県警察本部地域課 (023) 626-0110 内 3593 山形県小国警察署 (0238) 62-0110 ◎インターネット http://www.ic-net.or.jp/home/iide/ 新潟県警察本部地域課 (025) 285-0110 内 3585 ◎インターネット http://www.police.pref.niigata.jp/ 福島県警察本部地域課 (024) 522-2151 内 2878
巻機山連峰 苗場山	新潟 " (025) 244-1701 前橋 " (027) 231-2237 長野 " (026) 232-2034	新潟県警察本部地域課 (025) 285-0110 内 3585 ◎インターネット http://www.police.pref.niigata.jp/
谷川岳 草津白根山	新潟 " (025) 244-1701 前橋 " (027) 231-2237 長野 " (026) 232-2034	群馬県警察本部地域課 (027) 243-0110 内 3563 ◎インターネット http://www.police.pref.gunma.jp/
丹沢山系	横浜 " (045) 621-1991	神奈川県警察本部地域総務課 (045) 211-1212 内 3532 ◎インターネット http://www.police.pref.kanagawa.jp/mes/mesg0004.htm
南アルプス 富士山	甲府 " (055) 222-2347 静岡 " (054) 286-3411 長野 " (026) 232-2034	山梨県警察本部地域課 (055) 235-2121 内 711-537 ◎インターネット http://www.pref.yamanashi.jp/police/ 静岡県警察本部地域課 (054) 271-0110 内 3573 ◎インターネット http://www.wbs.ne.jp/cmt/kenkei/ 静岡県御殿場警察署 (0550) 84-0110 内 444
北アルプス 中央アルプス 南アルプス 八ヶ岳	長野 " (026) 232-2034 岐阜 " (058) 271-4107	長野県警察本部地域課 (026) 235-3611 (直通) ◎インターネット http://www.pref.nagano.jp/police/
北アルプス	富山 " (076) 432-2311 岐阜 " (058) 271-4107	富山県警察本部地域課 (076) 441-2211 内 3583 ◎インターネット http://www.pref.toyama.jp/kenkei/index.html 岐阜県警察本部地域課 (058) 271-2424 内 3584 ◎インターネット http://www.pref.gifu.jp/pref/POLICE/
大峰山系 大台山	奈良 " (0742) 22-2555	奈良県警察本部地域課 (0742) 23-0110 内 3572 ◎インターネット http://www.police.pref.nara.jp/
大 山	鳥取 " (0857) 29-1311	鳥取県警察本部地域課 (0857) 23-0111 内 3577 ◎インターネット http://www.k_yabasekouu@pref.tottori.jp
石鎚山系	松山 " (089) 941-0012 高知 " (088) 822-8881	愛媛県警察本部地域課 (089) 934-0110 内 3573 ◎インターネット http://www.police.pref.ehime.jp/ 高知県警察本部地域課 (088) 826-0110 内 3565 ◎インターネット http://www.i-kochi.or.jp/hp/kenkei/
屋久島	鹿児島 " (099) 250-9913	鹿児島県屋久島警察署 (0997) 46-2110 内 290 ◎インターネット http://chukakunet.pref.kagoshima.jp/police/osirase34.htm

遭難事故防止の第一歩は登山計画書の作成と提出です。